

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
平成27年度 第1回評議員会議事録

日 時 平成27年6月13日(土) 10:00~11:00
会 場 京都ホテルオークラ 3F 曲水の間

出席者 [現在数12名、定足数7名、出席者数8名]
荒巻隆三、一守益男、國友政治、高林伸樹、福原 洋、西村伸次、
三宅常久、山崎伊佐緒

参席者 理事長 荒巻禎一
理事 羽生田寂裕、八木 茂、大西孝雄、篠田恒夫、川西通夫
監事 柳澤 傳

議 案 第1号議案 平成26年度 事業報告書の承認の件
第2号議案 平成26年度 決算報告書の承認の件
第3号議案 公益目的支出計画実施報告書の承認の件
第4号議案 評議員2名退任の件

開会宣言 八木 茂常務理事より開会宣言。

挨拶 荒巻禎一理事長より挨拶

◇最初に、昨今の社会経済情勢についての所感と、昨今の少年犯罪の凶悪性は、憂慮に堪えないと述べられ、社会問題解決に繋がるボーイスカウト活動への期待を語られた。

◇本年は第23回世界ジャンボリーが、山口県で世界162の国と地域から約3万人の青少年が集まって、7月28日から約2週間に亘って開催され、京都からは約160名が参加する予定。

◇ジャンボリー開催期間の前後にイギリス、イタリア、スウェーデンからは総勢600名のスカウトが京都でのホームステイを希望されている。

◇本年度、京都連盟が100周年を迎えるが、その歴史と伝統、世界ジャンボリー、外国スカウトとの国際交流等を積極的に外部に広報し、少子化の状況下、時代の趨勢に合ったスカウト活動を模索して展開していることをPRすることも必要である。地域社会の教育力として京都府民・市民の方に再認知される千載一遇の機会である。

[第1号議案] 平成26年度 事業報告書の承認の件

八木常務理事より、同議案につき、別紙事業報告書に基づき次の内容説明及び諮問がなされた。

(1)のボーイスカウト行事等に対する助成協力事業について事業費として、1,300千円を支出しました。京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費、ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ実修所・研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ実修所・研修所の実施状況は資料に掲載されている通りです。ご確認ください。

(2)の青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業について

当法人が所有する広河原野営場の使用実績は、24日間、のべ人数462名でした。体験活動に参加した対象者、使用人数等の詳細については、お手許資料の事業報告書に記載の通りである。費用的には、(オ)の建物減価償却費80,730円・固定資産税4,300円が主なものです。(カ)の広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得検討案に関しては、所有者との協議を継続中であるが、前々年の会計期間に実施された広河原野営場の整備(京都西ライオンズクラブからトイレ及びシャワー施設寄贈、振興会費用負担のアセビの植樹等)によってキャンプ生活面の環境整備等の配慮がなされていますが、使用実績については整備前と比較しても、さほど増加が見られないので、取得の必要性に関してさらに議論が必要と思われる。

(3)の指導者養成のためのプログラム企画運営事業について

本年度は、3月9日に青少年のためのリーダーシップトレーニングの場として、「京都スカウト活動報告会2015」という形式で、スカウトのロールモデル的な活動にチャレンジした者に活動発表の場を提供しました。事業費として、会場費を約30千円を支出した。

(4)の国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業について

(ア)国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、国際協力プロジェクトの派遣実績等

(イ)社会に役立つ事業活動支援

一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業(アウトドアチャレンジ)
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、
視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕

(ウ)環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(5)のボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業について

事業費実績として普及宣伝費 24,000 円、ホームページ運営改革 388,800 円、
通信運搬費 17,236 円、雑費 1,080 円など 431,116 円を支出した。

その他、賛助会費の受取会費合計の推移については、お手許の資料をご覧ください。
平成 25 年度では 2,190 千円でありましたが、平成 26 年度は、2,080 千円と前年度
比 110 千円の減少となった。

引き続き、役員の皆様方には、21 世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していけるように努力して頂き、維持会員数の拡大に一層のご協力をお願いする次第であります。 以上で報告を終了致します。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

[第 2 号議案] 平成 26 年度 決算報告書の承認の件

樋口公認会計士より、同議案につき、別紙決算報告書に基づき説明及び諮問がなされた。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

[第 3 号議案] 公益目的支出計画実施報告書の承認の件

樋口公認会計士より、同議案につき、別紙公益目的支出計画実施報告書に基づき説明及び諮問がなされた。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

また、公益目的支出計画委実施報告書について、軽微な修正については、常務理事一任することで出席役員全員一致で承認された。

さらに、広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得に関して、今後の所有者との交渉継続及び購入条件等については、常務理事に一任することで、出席役員全員一致で承認された。

[第4号議案] 評議員の辞任の件

議長より、三宅常久、峯森 章両氏から辞任届が出てる旨、説明があり、出席役員に諮ったところ全員一致で承認された。

以上を以って、議事をすべて終了し、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するために、出席した議長及び議事録署名人は次のとおり記名押印する。なお、軽易な文言の修正は、議長に委任する。

平成27年6月13日

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

議 長 山 崎 伊 佐 緒 ⑩

議事録署名人 福 原 洋 ⑩

議事録署名人 國 友 政 治 ⑩

議事録作成者 一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
常務理事 八木 茂